

泉大津市  
市民みんなの「未来の学びの場」を考える  
アンケート調査報告書（単純集計）

令和3年10月

# 1 調査概要

---

## (1) 調査目的

本調査は、「(仮称) 泉大津市教育施設配置計画」の策定にあたり、既存の教育施設の現状や課題、市民ニーズなどについて、広く市民の意見、意向をうかがい、計画に反映していくことを目的に実施した。

## (2) 調査対象

無作為抽出した、泉大津市在住の16歳以上の市民2,000人

## (3) 調査方法

郵送により調査票を配布し、回収方法は郵送による回収と、WEBアンケートフォーム上での回答の2種類とした。

## (4) 調査時期

令和3年8月23日～令和3年9月21日

## (5) 回収状況

発送数	回収数	回収率
2,000件	725件 (うち Web 回答 : 132件)	36.3%

## (6) 調査結果の表示方法

- ・ 設問ごとの集計母数はグラフ中に (n = ○○) と表記。
- ・ 集計結果の百分率 (%) は、小数点第2位を四捨五入した値を表記している。このため、回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比率の合計は通常 100.0%とならない。

## 2 調査結果

### 1 あなた自身について

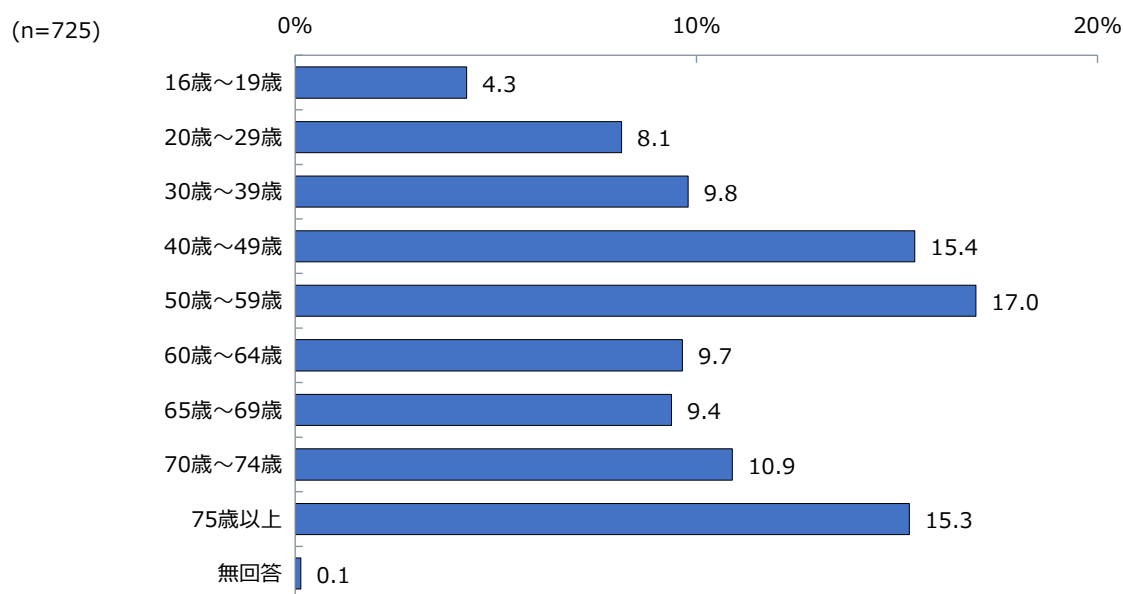
問1

あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。(アンケートご記入時の状況でご回答ください)

#### (1) 年齢

回答者の年齢別割合は「50歳～59歳」が最も高く17.0%、次いで「40歳～49歳」が15.4%、「75歳以上」が15.3%となっている。40歳以上が77.7%と高い割合になっている。

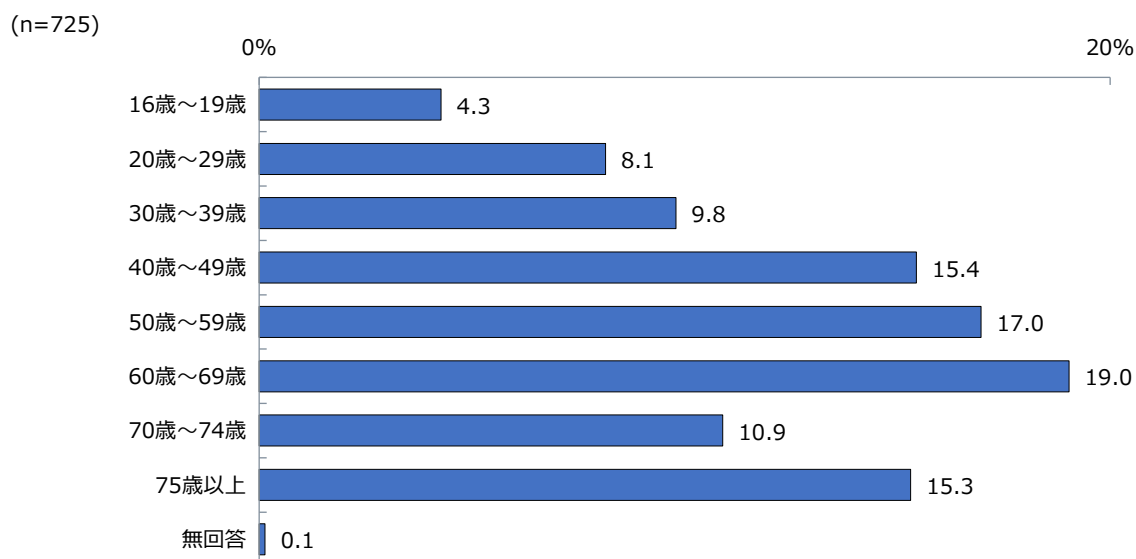
図表 1 年齢



(参考：60代を一括りにした場合)

60代を一括りにした場合、回答者の年齢別割合は「60歳～69歳」が最も高く19.0%となる。

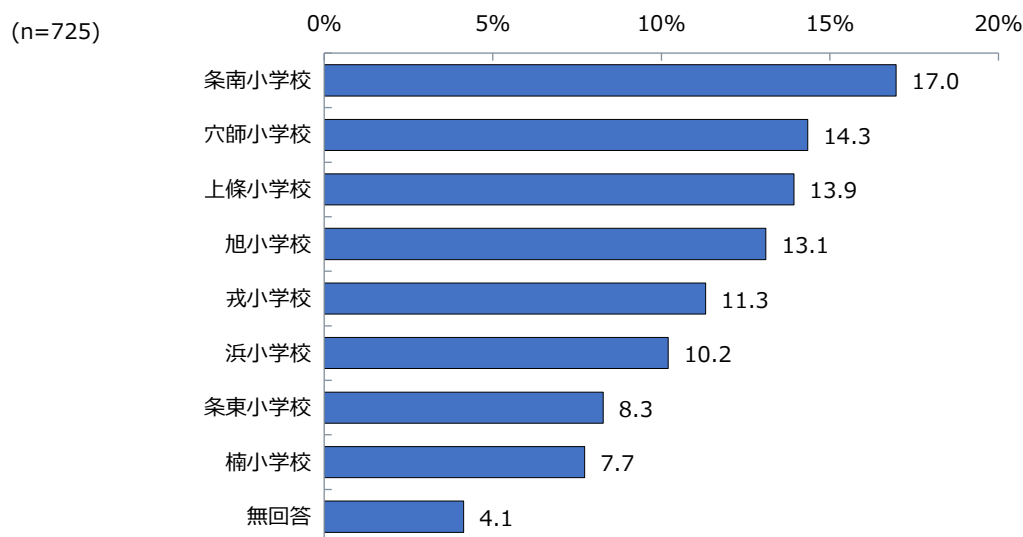
図表 2 年齢(60代を一括り)



## (2) 居住地区

回答者の小学校別割合は「条南小学校」が最も高く 17.0%、次いで「穴師小学校」が 14.3%、「上條小学校」が 13.9%となっている。

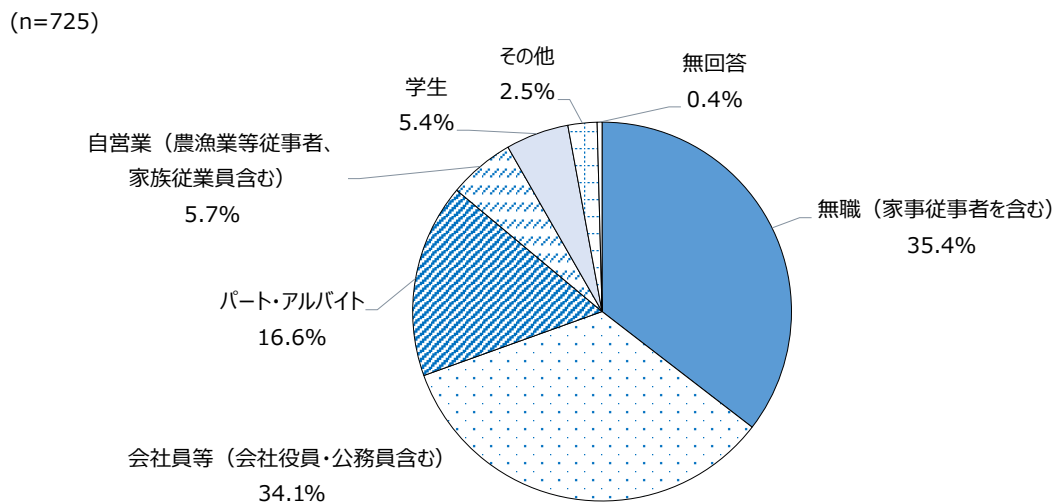
図表 3 居住地区



## (3) 職業

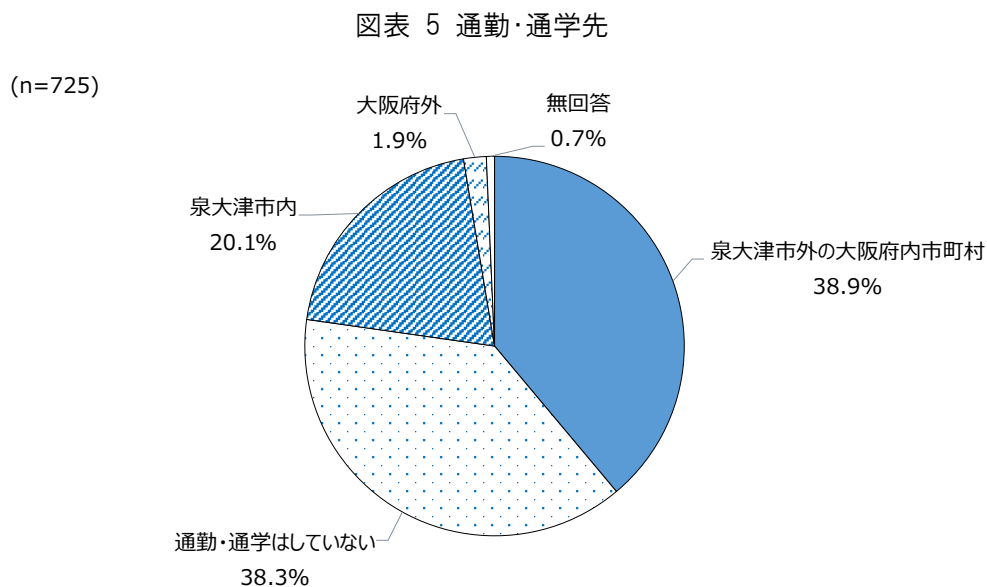
回答者の職業別割合は「無職（家事従事者を含む）」が最も高く 35.4%、次いで「会社員等（会社役員・公務員含む）」が 34.1%、「パート・アルバイト」が 16.6%となっている。

図表 4 職業



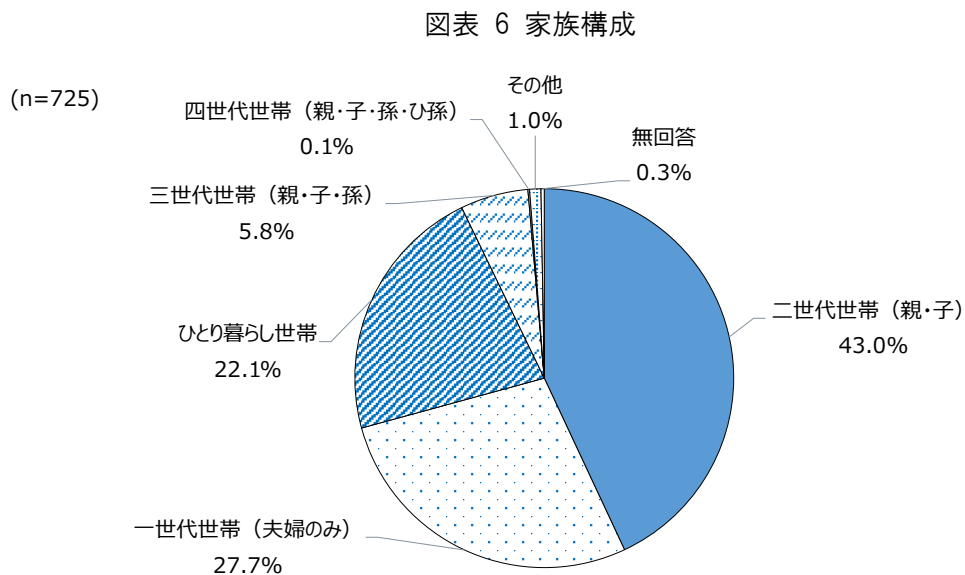
#### (4) 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先別割合は「泉大津市外の大阪府内市町村」が最も高く 38.9%、次いで「通勤・通学はしていない」が 38.3%、「泉大津市内」が 20.1%となっている。



#### (5) 家族構成

回答者の家族構成別割合は、「二世帯世帯（親・子）」が最も高く 43.0%、次いで「一世代世帯（夫婦のみ）」が 27.7%、「ひとり暮らし世帯」が 22.1%となっている。

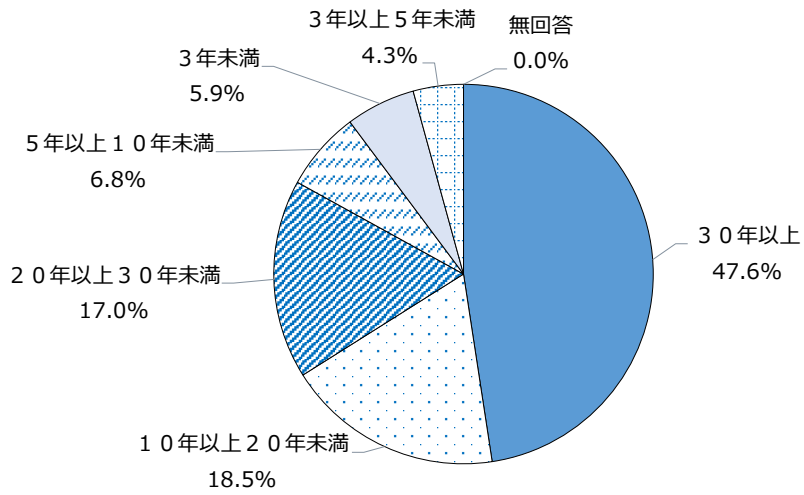


## (6) 泉大津市居住歴

回答者の泉大津市居住歴別割合は、「30年以上」が最も高く47.6%、次いで「10年以上20年未満」が18.5%、「20年以上30年未満」が17.0%となっている。

図表 7 居住年数

(n=725)



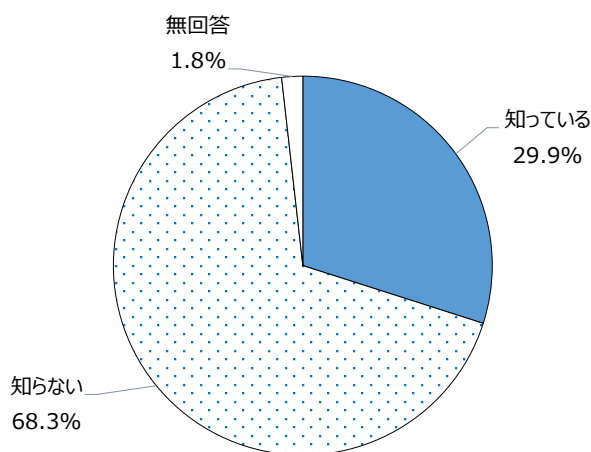
## 2 泉大津市の現状及び教育施設の現状に対する考えについて

**問 2** 本市が、公共施設の老朽化やそれに伴う改修費用の不足などの課題に対処していくために、施設の複合化・多機能化などにより、公共施設の数や規模を、市の将来の人口や税収の減少に見合ったものにする取組を行っていることを知っていますか？〈1つに〇印〉

公共施設の数や規模を、市の将来の人口や税収の減少に見合ったものにする取組の認知度について、「知らない」と回答した人が 68.3%と過半数を占め、「知っている」と回答した人は 29.9%となっている。

図表 8 公共施設の数や規模を、市の将来の人口や税収の減少に見合ったものにする取組の認知度

(n=725)

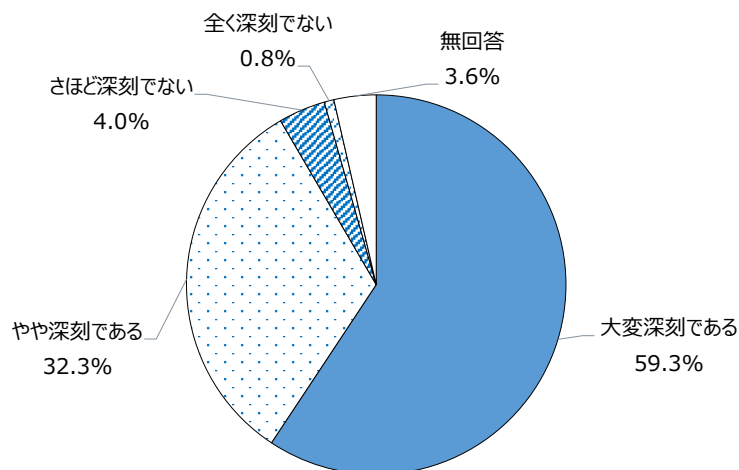


**問 3** 本市の教育施設の多くは老朽化が進行しており、将来も現在の数や規模を維持する場合、更新等にかかる整備費用が、令和 25 年までで約 120 億円（1 年あたり 5.5 億円）という試算結果になっています。このことについてどのように思いますか？〈1つに〇印〉

教育施設の整備費用について、「大変深刻である」と回答した人が 59.3%と過半数を占め、次いで「やや深刻である」と回答した人が 32.3%と 91.6%の人が「深刻である」と感じている。

図表 9 教育施設の整備費用

(n=725)

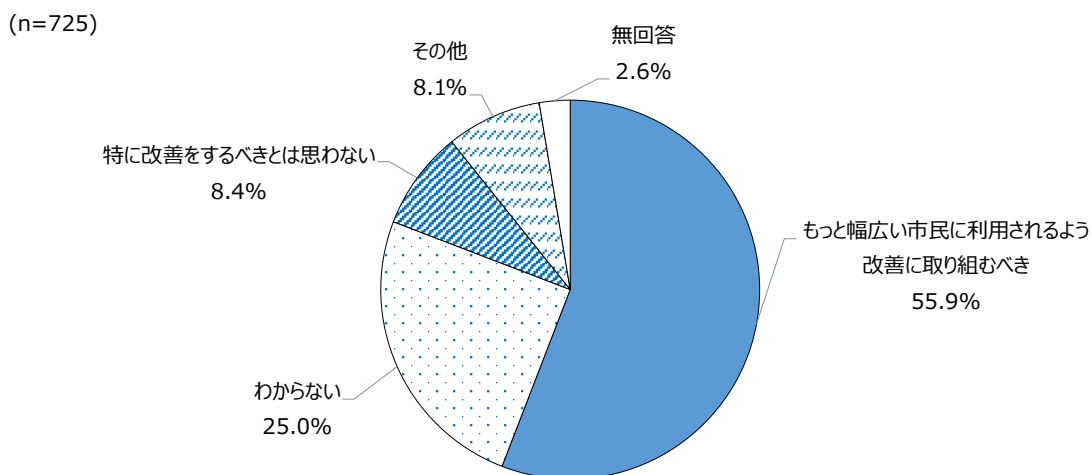


問 4

平成 28 年に実施した市民アンケートでは、過去 1 年間に南・北公民館、勤労青少年ホームを「利用していない」と回答した人が 8 割以上でした。このことについてどのように思いますか？ <1 つに○印>

南・北公民館、勤労青少年ホームの利用状況に関する意見は、「もっと幅広い市民に利用されるよう改善に取り組むべき」が最も高く 55.9%と過半数を占め、「特に改善をするべきとは思わない」が 8.4%となっている。

図表 10 南・北公民館、勤労青少年ホームの利用状況に関する意見



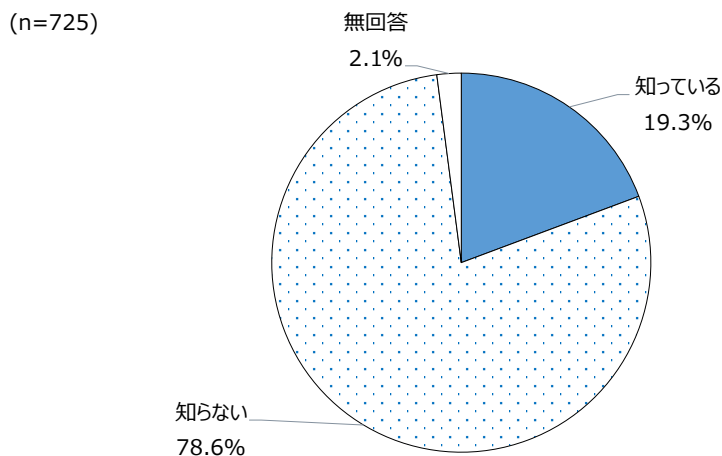
### 3 学校教育施設の利用経験および複合化・多機能化について

問 5

りふれ EBISU、ミント条東、ブックランド・あさひといった学校図書室の地域開放や、校庭・園庭開放、おやこ広場などの本市の学校・就学前施設における地域開放の取組を知っていますか？ <1 つに○印>

学校・就学前施設における地域開放の取組について、「知っている」が 19.3%、「知らない」が 78.6%となっている。

図表 11 学校・就学前施設における地域開放の取組の認知度





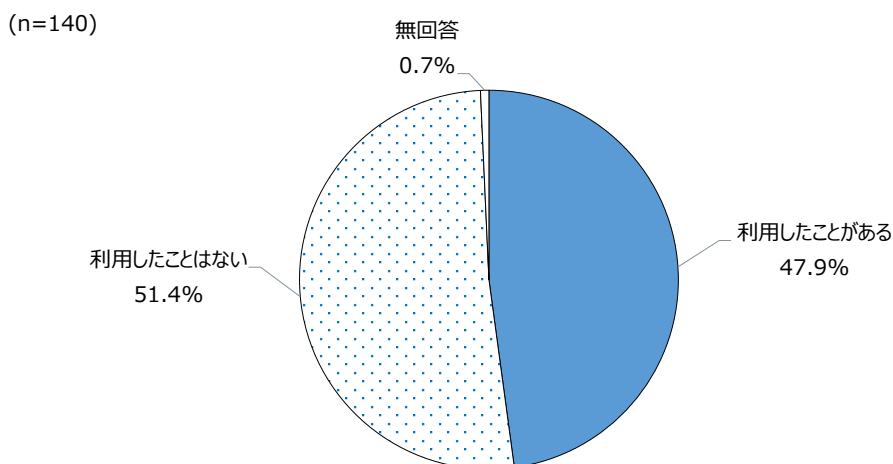
問 6

(問5で「1知っている」と回答した方にお聞きします) 学校図書室など学校で地域開放されているスペースや、就学前施設の地域開放を利用したことはありますか？  
 <1つに〇印>

(1) 学校・就学前施設の地域開放の利用の有無

学校・就学前施設における地域開放の取組を知っていると回答した方において、学校で地域開放されているスペースや、就学前施設の地域開放の利用の有無について、「利用したことがある」が47.9%、「利用したことはない」が51.4%となっている。

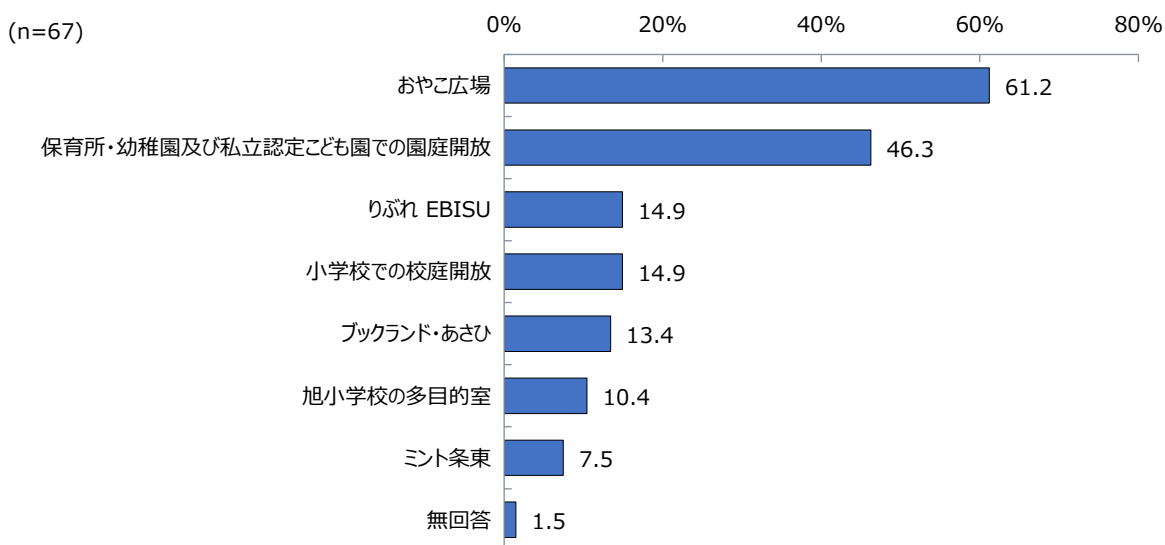
図表 12 学校・就学前施設の地域開放の利用の有無



(2) 利用した施設

学校・就学前施設における地域開放を利用したことがあると回答した方において、利用したことのある施設は「おやこ広場」が最も高く61.2%、次いで「保育所・幼稚園及び私立認定こども園での園庭開放」が46.3%、「りぶれ EBISU」が14.9%、「小学校での校庭開放」が14.9%となっている。

図表 13 利用したことのある施設〔複数回答〕

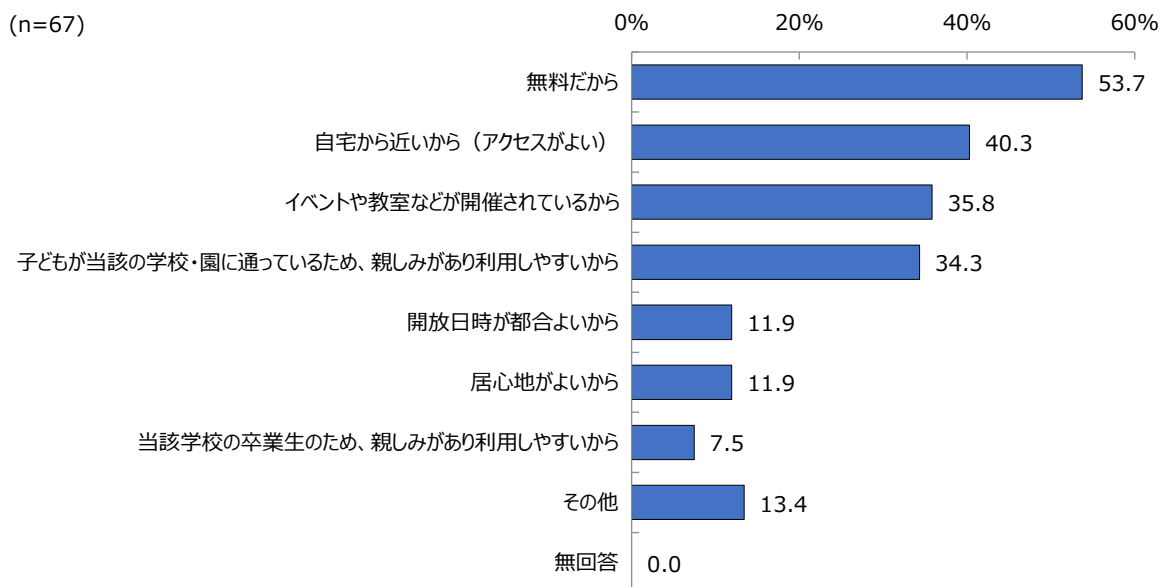


問 7

(問6で「1 利用したことがある」と回答した方にお聞きします) どのような理由で地域開放スペースを利用しましたか? <あてはまるものに○印 (いくつでも) >

学校・就学前施設における地域開放を利用したことがあると回答した人において、施設を利用した理由は「無料だから」が最も高く 53.7%、次いで「自宅から近いから (アクセスがよい)」が 40.3%、「イベントや教室などが開催されているから」が 35.8%、「子どもが当該の学校・園に通っているため、親しみがあり利用しやすいから」が 34.3%となっている。

図表 14 利用した理由〔複数回答〕

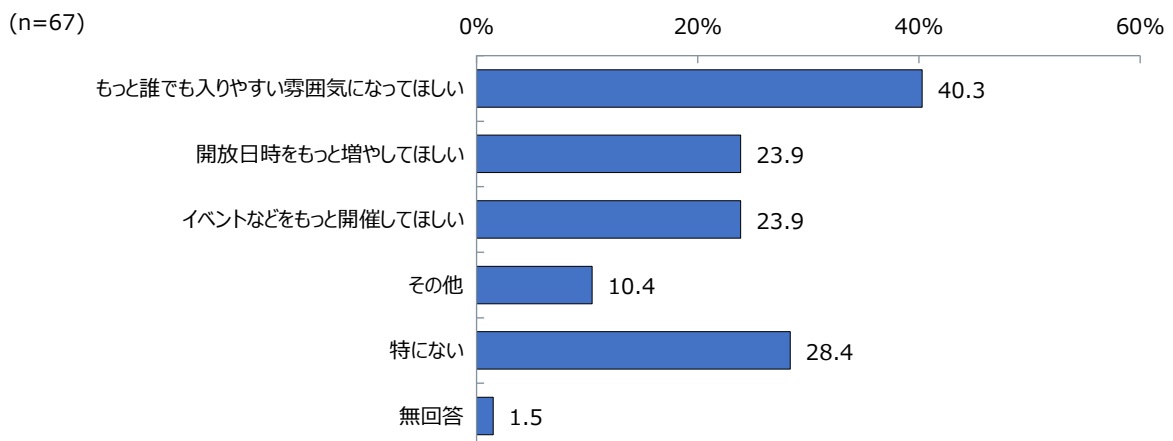


問 8

(問6で「1 利用したことがある」と回答した方にお聞きします) 利用したことがある地域開放のスペースについて、もっと使いやすくなるために必要なことや、改善した方がよい点などがあれば、教えてください。 <あてはまるものに○印 (いくつでも) >

学校・就学前施設における地域開放を利用したことがあると回答した人に、施設をもっと使いやすくなるために必要なことや、改善した方がよい点を聞いたところ、「もっと誰でも入りやすい雰囲気になってほしい」が最も高く 40.3%、次いで「開放日時をもっと増やしてほしい」が 23.9%、「イベントなどをもっと開催してほしい」が 23.9%となっている。一方、「特にない」が 28.4%となっている。

図表 15 もっと使いやすくなるために必要なことや、改善した方がよい点〔複数回答〕

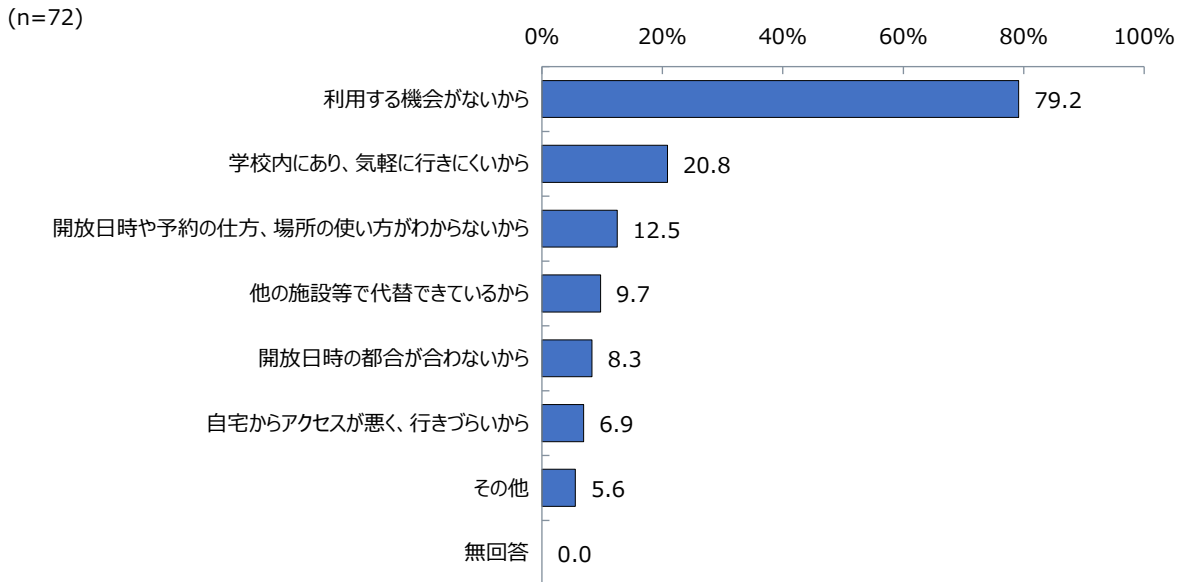


問 9

(問6で「2利用したことはない」と回答した方にお聞きします) 利用していない理由を教えてください。 <あてはまるものに○印(いくつでも)>

学校・就学前施設における地域開放を利用したことはないと回答した人において、利用していない理由は、「利用する機会がないから」が最も高く79.2%、次いで「学校内にあり、気軽に行きにくいから」が20.8%、「開放日時や予約の仕方、場所の使い方がわからないから」が12.5%、となっている。

図表 16 利用していない理由〔複数回答〕

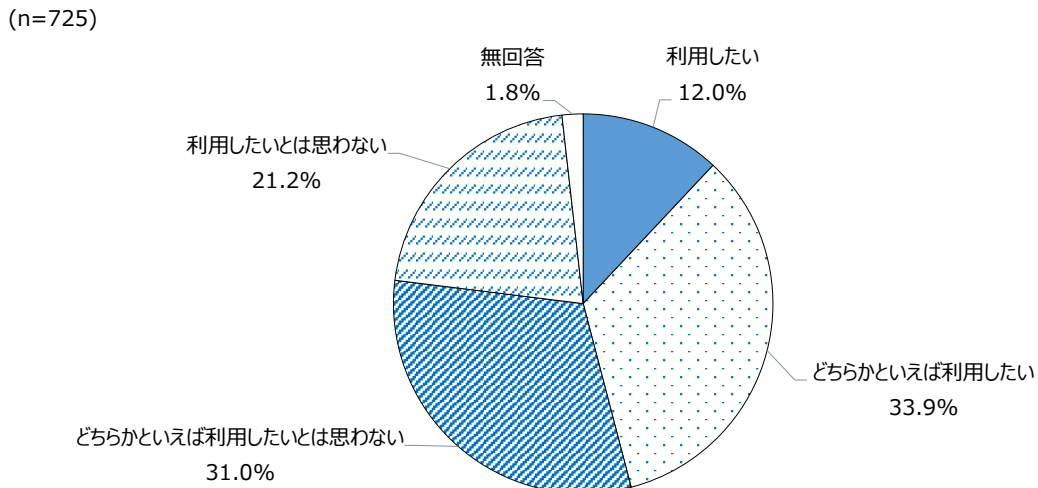


問 10

今後、学校内に「地域交流ゾーン」を整備していく予定です。自宅近くの学校に「地域交流ゾーン」ができれば、利用したいと思いますか？ <1つに○印>

「地域交流ゾーン」の利用意向について「利用したい」が12.0%、「どちらかといえば利用したい」が33.9%と利用したい人が45.9%であり、「どちらかといえば利用したいとは思わない」が31.0%、「利用したいとは思わない」が21.2%と利用したいと思わない人が52.2%となっている。

図表 17 「地域交流ゾーン」の利用意向

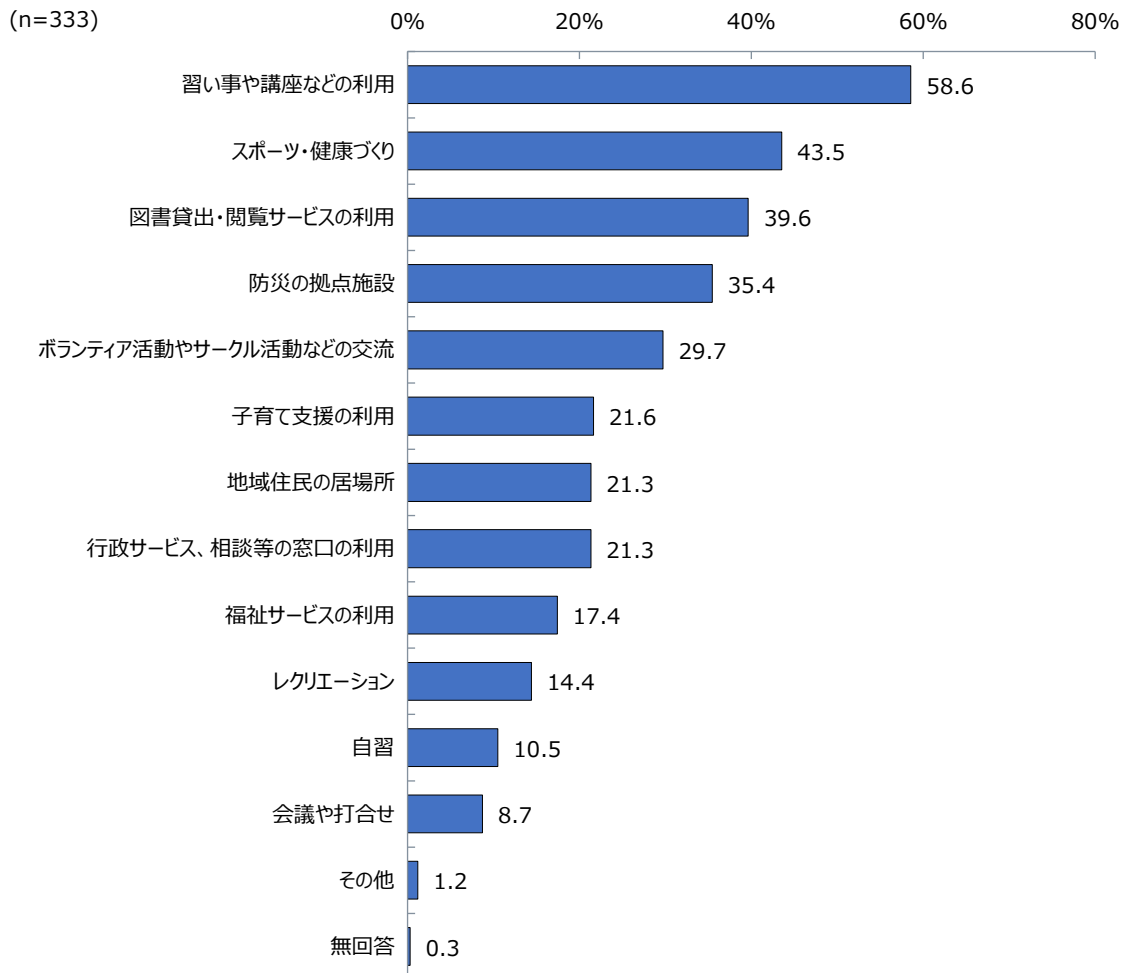


問 11

(問 10 で「1 利用したい」「2 どちらかといえば利用したい」と回答した方にお聞きします) どのような目的で利用したいですか? <あてはまるものに〇印(いくつでも)>

「地域交流ゾーン」の利用意向がある人において、「地域交流ゾーン」を利用したい目的については、「習い事や講座などの利用」が最も高く 58.6%、次いで「スポーツ・健康づくり」が 43.5%、「図書貸出・閲覧サービスの利用」が 39.6%、「防災の拠点施設」が 35.4%となっている。

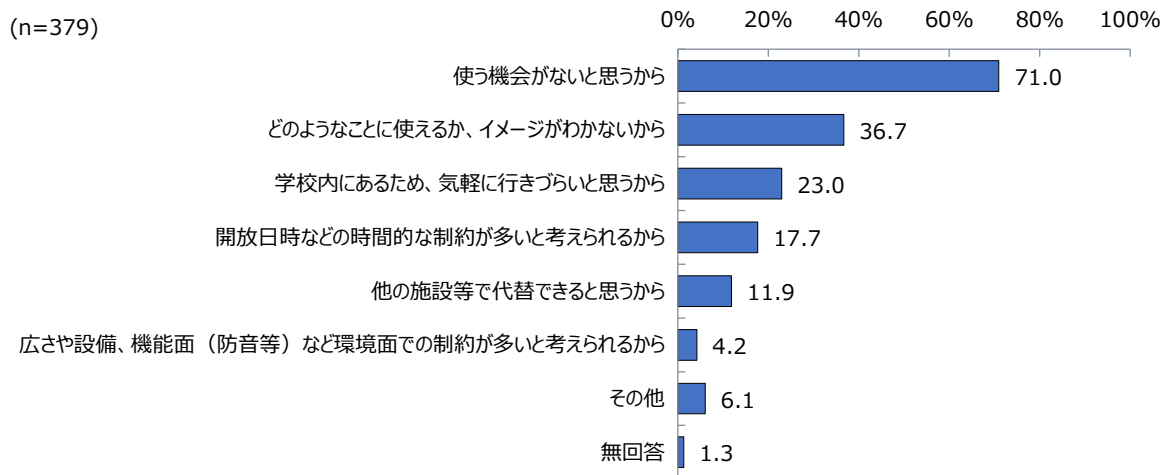
図表 18 利用したい目的〔複数回答〕



**問 12** (問 10 で「3どちらかといえば利用したいとは思わない」「4利用したいとは思わない」と回答した方にお聞きします) そう思う理由を教えてください。  
 <あてはまるものに○印 (いくつでも) >

「地域交流ゾーン」の利用意向はない人において、「地域交流ゾーン」を利用したいと思わない理由については、「使う機会がないと思うから」が最も高く 71.0%、次いで「どのようなことに使えるか、イメージがわからないから」が 36.7%、「学校内にあるため、気軽に行きづらいと思うから」が 23.0% となっている。

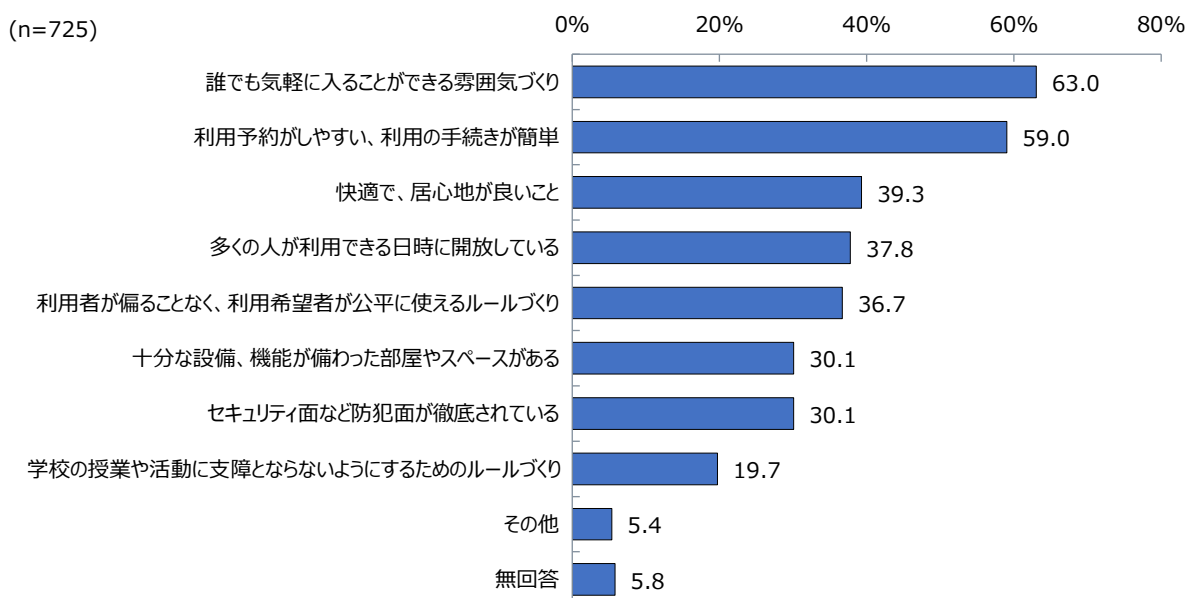
図表 19 利用したいと思わない理由〔複数回答〕



**問 13** 地域交流ゾーンをよりたくさんの人に使うために必要なことは何だと思いますか？  
 <あてはまるものに○印 (いくつでも) >

地域交流ゾーンをよりたくさんの人に使うために必要なことについて「誰でも気軽に入ることができる雰囲気づくり」が 63.0%、「利用予約がしやすい、利用の手続きが簡単」が 59.0%、「快適で、居心地が良いこと」が 39.3%、「多くの人を利用できる日時に開放している」が 37.8%、「利用者が偏ることなく、利用希望者が公平に使えるルールづくり」が 36.7% となっている。

図表 20 地域交流ゾーンをよりたくさんの人に使うために必要なこと〔複数回答〕



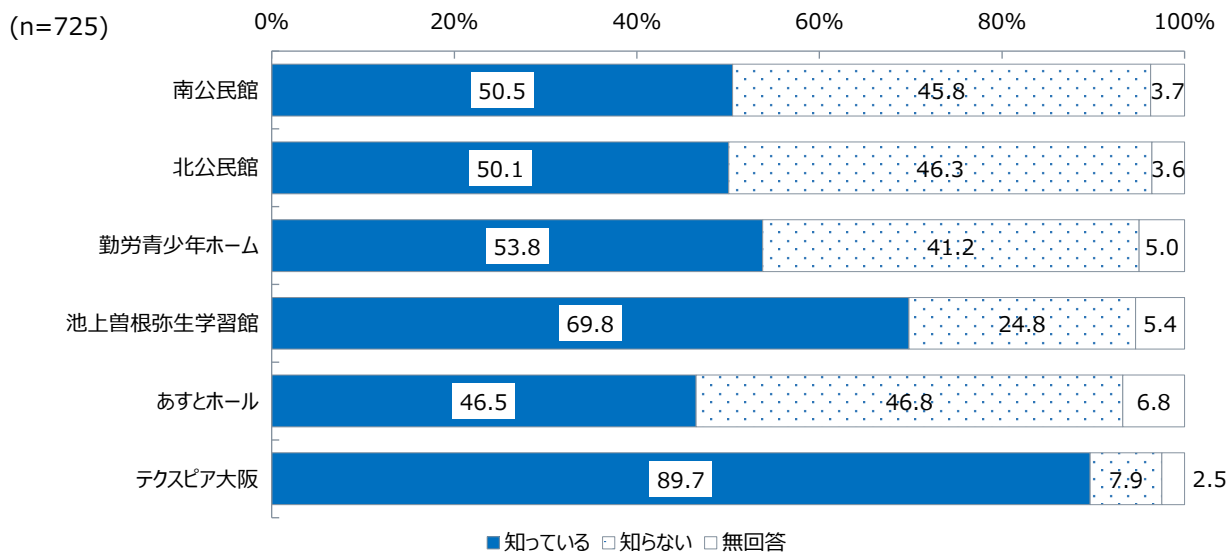
#### 4 生涯学習施設の利用経験および複合化・多機能化について

##### 問 14 あなたは以下の施設がどこにあるか知っていますか？ <それぞれ1つに○印>

生涯学習施設の場所について、南公民館の場所は「知っている」が50.5%、「知らない」が45.8%、北公民館の場所は「知っている」が50.1%、「知らない」が46.3%、勤労青少年ホームの場所は「知っている」が53.8%、「知らない」が41.2%であり、これら3施設では「知っている」は約半数となっている。

池上曽根弥生学習館の場所は「知っている」が69.8%、「知らない」が24.8%、あすとホールは「知らない」が46.8%、「知っている」が46.5%、テクスピア大阪の場所は「知っている」が89.7%、「知らない」が7.9%となっている。「テクスピア大阪」は約9割の人が「知っている」と回答しており認知度が他施設に比べ高くなっている。

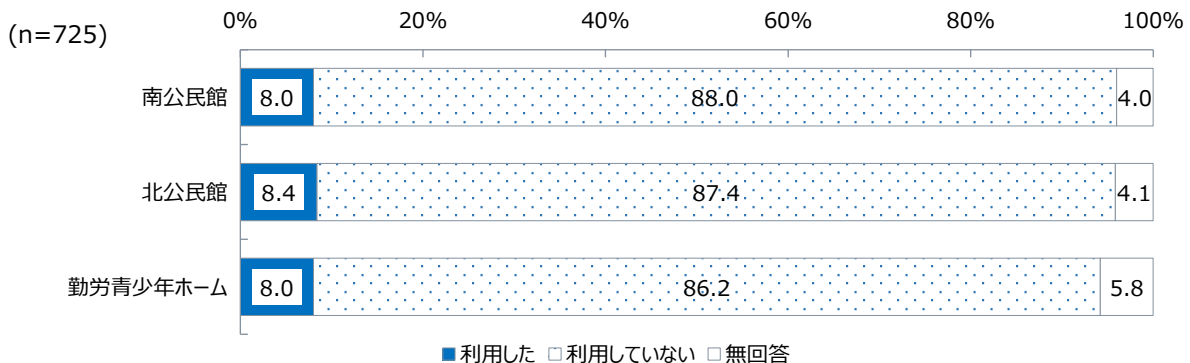
図表 21 各施設の場所の認知状況



##### 問 15 あなたは過去3年間に、南・北公民館、勤労青少年ホームを利用しましたか？ <それぞれ1つに○印>

南公民館は、「利用していない」が88.0%、「利用した」が8.0%、北公民館は、「利用していない」が87.4%、「利用した」が8.4%、勤労青少年ホームは、「利用していない」が86.2%、「利用した」が8.0%となっている。どの施設も約8割の人が利用していない。

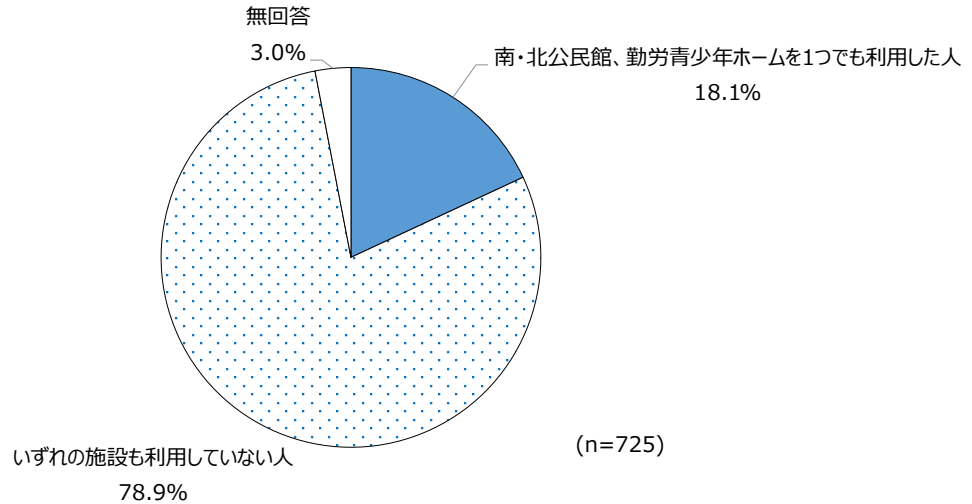
図表 22 過去3年間の各施設の利用状況



【南・北公民館、勤労青少年ホームのうちいずれか1つでも利用した人の割合】

南・北公民館、勤労青少年ホームのうちいずれか1つでも利用した人の割合は18.1%、いずれの施設も利用していない人は、78.9%と、いずれの施設も利用していない人が約8割を占めている。

図表 23 過去3年間の施設の利用状況

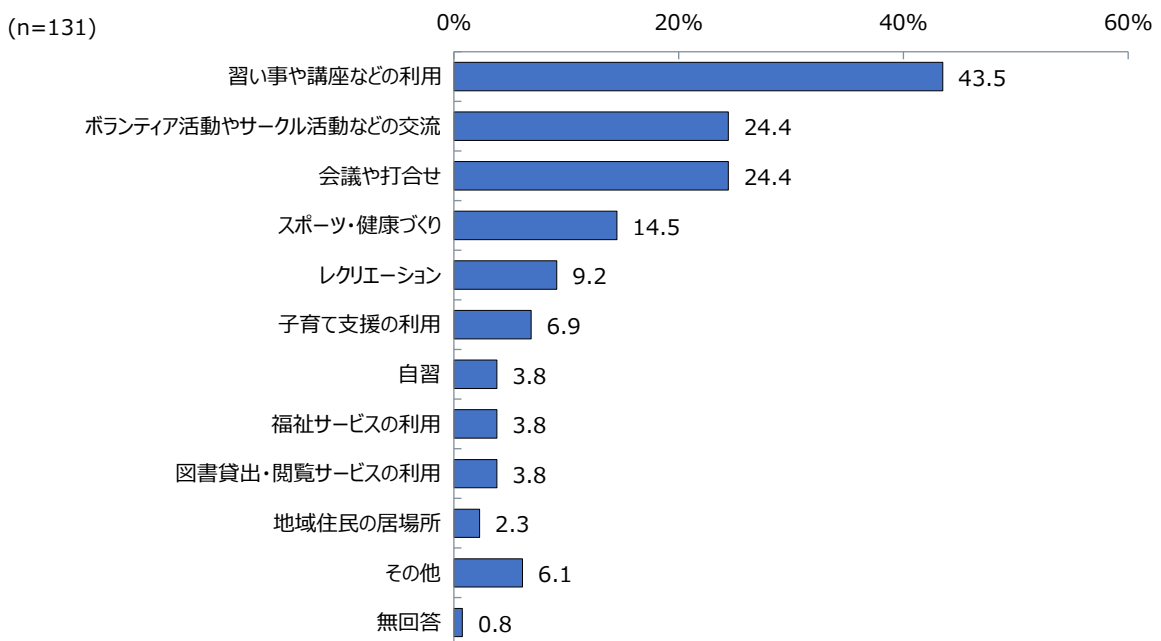


問 16

(問 15 で1つでも「1利用した」と回答した方にお聞きします) 南・北公民館、勤労青少年ホームをどのようなことで利用しましたか? <あてはまるものに○印 (いくつでも)>

南・北公民館、勤労青少年ホームのいずれかを利用した人において、利用した目的については「習い事や講座などの利用」が最も高く43.5%、次いで「ボランティア活動やサークル活動などの交流」が24.4%、「会議や打合せ」が24.4%となっている。

図表 24 南・北公民館、勤労青少年ホームの利用目的〔複数回答〕



問 17 (問 15 で1つでも「1 利用した」と回答した方にお聞きします) 南・北公民館などの生涯学習施設について、もっと使いやすくなるために必要なことや、改善した方がよい点などがあれば、教えてください。

項目	主な意見	件数
施設、設備面の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進んでいるので、トイレなどキレイな設備にする</li> <li>・バリアフリーにする。エレベーターをつける。駐車場を広くする</li> <li>・授乳室を設置する。</li> <li>・明るいデザイン 等</li> </ul>	26
周知・広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館での習い事やイベント等を知ってもらうために、小学校、中学校で紹介できるようにプリント配布する。</li> <li>・何をしているのか、何が出来るのかを発信した方が良い。子どもがいない世代は存在すら知らないため、市民日より等でもっと発信すべき</li> <li>・誰でも利用ができるという発信</li> <li>・目に付くところにポスターを貼る 等</li> </ul>	11
講座やイベント等の充実、工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節、ジャンルごとに専門の先生を呼んで各講座を開く。歴史や、PC、携帯アプリの使い方講座など</li> <li>・若い人たちにも利用しやすい習い事や講座などを増やす</li> <li>・講座に「預かり保育」があれば利用しやすい</li> <li>・子育て世代や共働きの人にも利用しやすいようクラブ活動の役員やクラブ以外の施設掃除や祭りの手伝いをしなくてもいいような仕組みが必要 等</li> </ul>	8
雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開放感がある施設の雰囲気づくりが必要</li> <li>・いつでも何もなくても立ち寄れる雰囲気が感じられるとよい。解放感もなく、全体的に暗い印象 等</li> </ul>	5
利用できる時間帯、曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日などみんなが使いやすい時間にもやってほしい</li> <li>・通常の仕事以外の時間帯で利用できるとよい 等</li> </ul>	4
利用の手続き面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の手続きを簡単にする 等</li> </ul>	3
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢になっても行きやすいところにある 等</li> </ul>	2
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係や、特定の人に負担が集中することが原因で利用を躊躇する場合もあると思う</li> <li>・職員対応の含め、気持ちよく利用できる施設がよい 等</li> </ul>	6

※ 1つの回答で複数の内容を含むものは重複してカウントしており、件数の合計が回答数ではない。

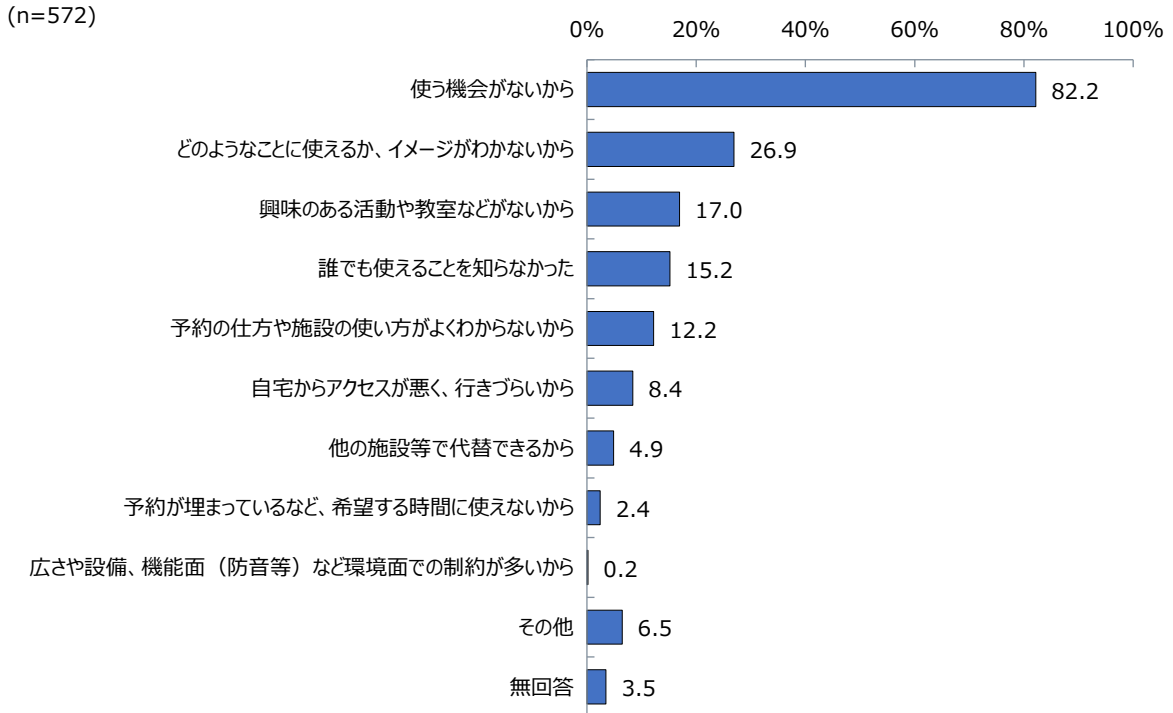


問 18

(問 15 ですべて「2利用していない」と回答した方にお聞きします) 利用していない、もしくは利用できていない理由を教えてください。〈あてはまるものに○印(いくつでも)〉

南・北公民館や勤労青少年ホームのいずれも利用していないと回答した人における、利用していない理由については、「使う機会がないから」が最も高く 82.2%、次いで「どのようなことに使えるか、イメージがわからないから」が 26.9%、「興味のある活動や教室などがないから」が 17.0%となっている。

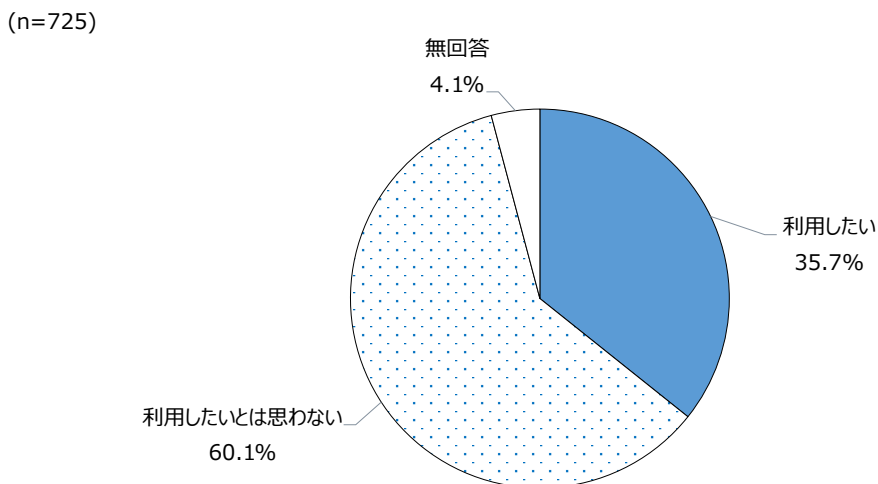
図表 25 南・北公民館、勤労青少年ホーム利用していない理由〔複数回答〕



問 19 あなたは、南・北公民館などの生涯学習施設を利用したいと思いますか？〈1つに○印〉

南・北公民館などの生涯学習施設の利用意向について「利用したい」が 35.7%、「利用したいとは思わない」が 60.1%となっている。「利用したいとは思わない」が過半数を占めている。

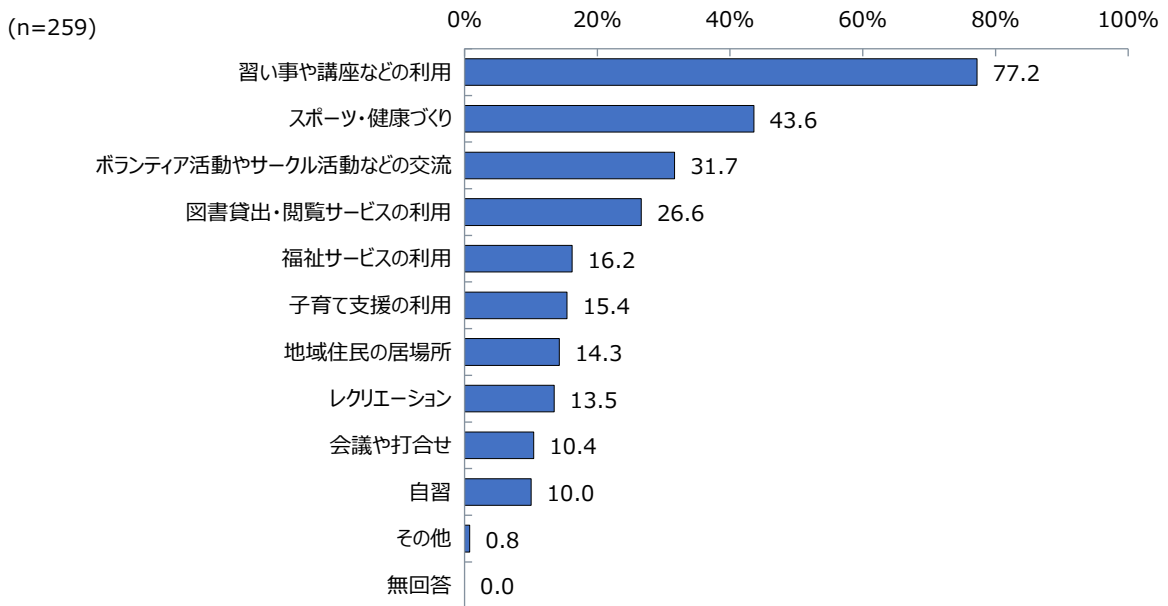
図表 26 南・北公民館などの生涯学習施設の利用意向



**問 20** (問 19 で「1 利用したい」と回答した方にお聞きします) あなたは、南・北公民館などの生涯学習施設をどのようなことで利用したいですか？  
 <あてはまるものに○印 (いくつでも) >

南・北公民館などの生涯学習施設を利用したいと回答した人において、利用したい目的については、「習い事や講座などの利用」が最も高く 77.2%、次いで「スポーツ・健康づくり」が 43.6%、「ボランティア活動やサークル活動などの交流」が 31.7%、「図書貸出・閲覧サービスの利用」が 26.6%となっている。

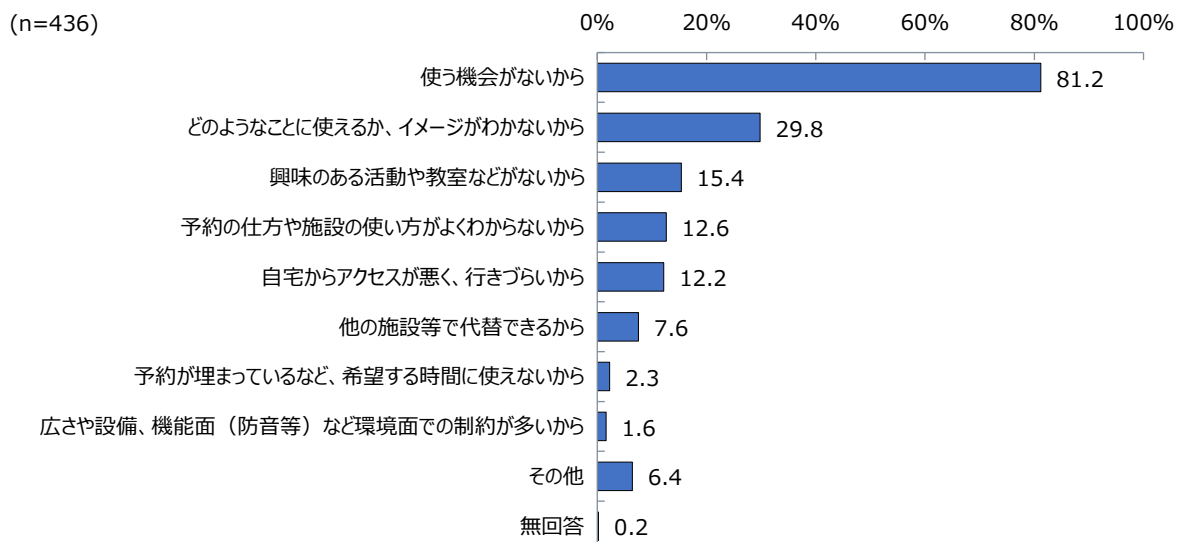
図表 27 南・北公民館などの生涯学習施設の利用目的〔複数回答〕



**問 21** (問 19 で「2 利用したいとは思わない」と回答した方にお聞きします) 利用したいとは思わない理由を教えてください。<あてはまるものに○印 (いくつでも) >

南・北公民館などの生涯学習施設を利用したいと思わないと回答した人における、利用していない理由については、「使う機会がないから」が最も高く 81.2%、次いで「どのようなことに使えるか、イメージがわからないから」が 29.8%、「興味のある活動や教室などがないから」が 15.4%となっている。

図表 28 南・北公民館などの生涯学習施設を利用したいと思わない理由〔複数回答〕

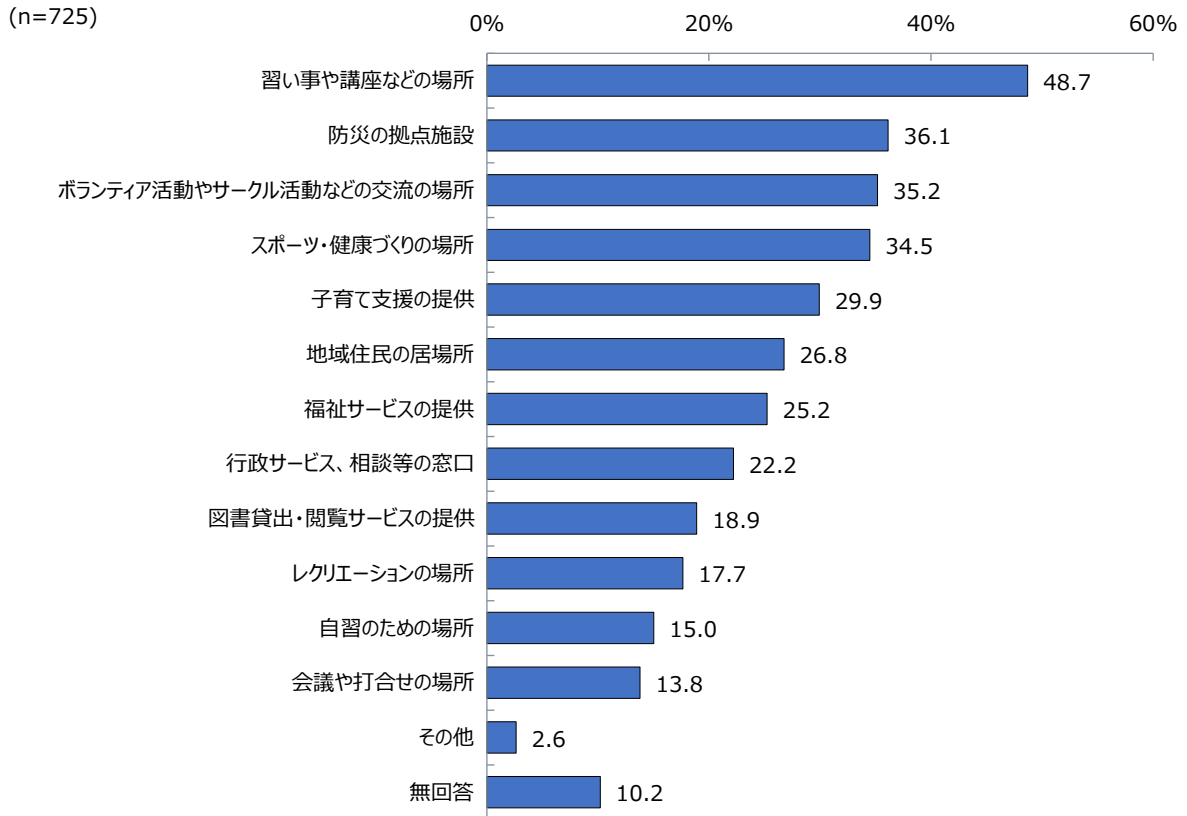


問 22

南・北公民館などの生涯学習施設の機能として必要だと思うものは何ですか？  
 <あてはまるものに○印（いくつでも）>

南・北公民館などの生涯学習施設の機能として必要だと思うものは、「習い事や講座などの場所」が最も高く 48.7%、次いで「防災の拠点施設」が 36.1%、「ボランティア活動やサークル活動などの交流の場所」が 35.2%、「スポーツ・健康づくりの場所」が 34.5%となっている。

図表 29 南・北公民館などの生涯学習施設の機能として必要だと思うもの〔複数回答〕



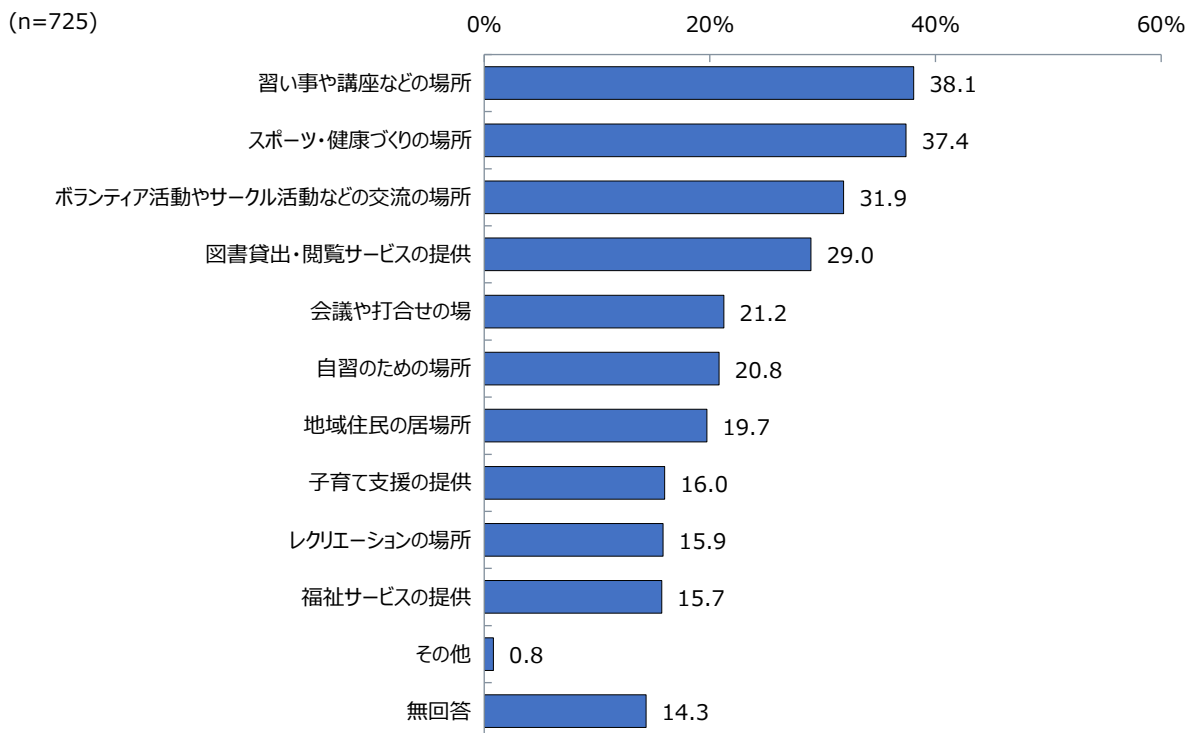
問 23

南・北公民館などの生涯学習施設の機能の中で、他の施設でも利用可能だと思うものを3つ選んでください。また、利用可能だと思う施設を3つお答えください。

(1) 生涯学習施設の機能の中で、他の施設で利用可能だと思われるもの(3つ選択)

生涯学習施設の機能の中で、他の施設で利用可能だと思われるものについて、「習い事や講座などの場所」が最も高く38.1%、次いで「スポーツ・健康づくりの場所」が37.4%、「ボランティア活動やサークル活動などの交流の場所」が31.9%となっている。

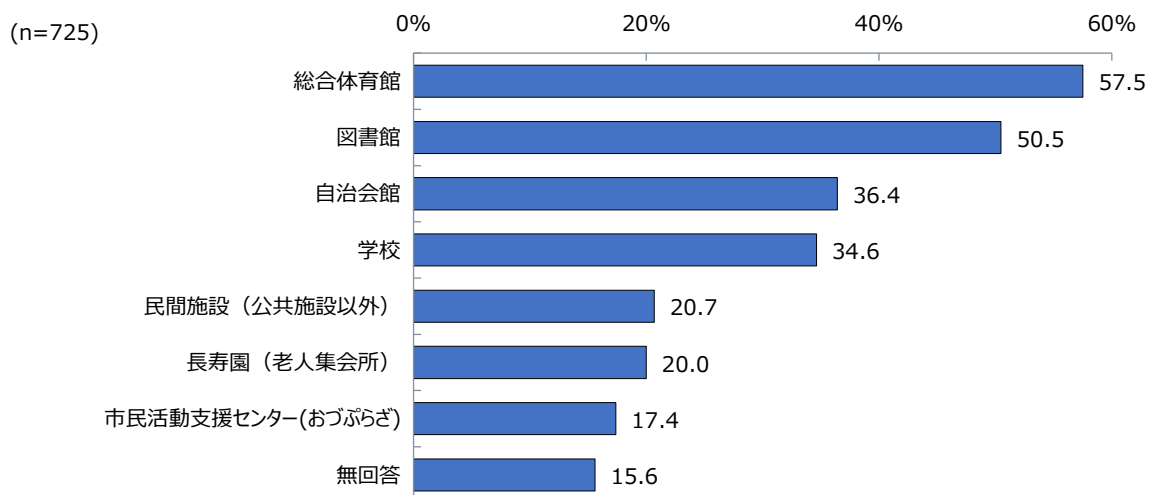
図表 30 生涯学習施設の機能の中で、他の施設で利用可能だと思われるもの(3つ選択)[複数回答]



(2) 生涯学習施設の機能の中で、利用可能だと思われる他の施設(3つ選択)

生涯学習施設の機能の中で、利用可能だと思われる他の施設について「総合体育館」が最も高く57.5%、次いで「図書館」が50.5%、「自治会館」が36.4%、「学校」が34.6%となっている。

図表 31 生涯学習施設の機能の中で、利用可能だと思われる他の施設(3つ選択)[複数回答]



## 5 教育施設に求める機能について

問 24	公共施設に地域住民が自由に使えるスペースや空間がある場合に、どのような機能や設備（例：無料で使用可能な Wi-Fi がある、子ども 1 人でも安心安全に遊べる空間等）があれば、使いたくなりますか？
------	--

項目	主な意見	件数
無料 Wi-Fi	・無料で使用可能な Wi-Fi 等	126
充実した設備、機能	・きれいなトイレ ・広い通路、広い出入口、大きなエレベーター ・プロジェクター、スクリーン ・十分な数のテーブルやイス ・おむつの交換場所、授乳室、離乳食を食べさせることができる場所 ・調理室、和室、お風呂（シャワー室） ・充電できる場所 ・楽器が演奏できる防音設備がある。楽器や音楽機材がある。 ・広い駐車場 ・冷暖房完備 等	64
安心安全な子どもの遊び場、子ども連れ用の場所	・子供がまわりを気にせずのびのび走りまわったりできるスペース ・安全な遊具の設置 ・子どもが屋内で安全に遊べる空間 ・ボール遊びができる空間 ・自由に工作できたり、色塗りや読書、遊びなどできる場所 等	60
自習室・個室、リモートワーク用スペース	・学生が自習に使える静かなスペース ・仕切りなどで個別ブースになった自習スペース ・気軽に利用でき快適な自習スペース ・リモートワークや打合せが気軽にできる空間 等	40
防犯、安全面の確保	・防犯カメラや・非常ベルの設置。 ・警備員がいる ・セキュリティ面の強化 等	35
カフェ、飲食可能スペース	・スターバックスのようなカフェで飲食ができ、利用者が思い思いにゆっくりと利用できる施設 ・飲食可能なスペース ・子供連れでも入れるカフェや飲食店 等	29
運動やスポーツ、健康づくりの場所	・プール、ランニングマシンなどのジムのような設備。 ・ボルダリング、スケートボードができる場所 ・誰でも使える健康器具 ・ナイター設備のあるスポーツ施設 等	20
PC、ネット環境の充実	・無料で誰でも使用できるパソコン、タブレット ・充実したインターネット環境 等	20
イベント・講座の充実	・音楽活動の練習や披露する場所 ・パソコン教室、スマホ教室 等	20
くつろげる、落ち着ける空間	・ゆったり座れるソファやマッサージチェアなどくつろげるスペース ・軽食も取れて少しほっとできるような空間 ・ゆったりできる芝生 ・静かに読書できるスペース 等	17
居場所、交流の場所	・みんなが顔見知りになれるような空間。初めて来た人へ声をかける、かけられやすい空間 ・子供同士が集まれる空間 ・高齢者の憩いの場 等	17
図書室、図書館	・自由に出入り出来る図書室。 ・専門書などが豊富な図書館 等	14
施設の雰囲気	・清潔で明るくてお洒落な雰囲気がある ・誰もが入りやすい雰囲気 等	14
使用料	・無料または低額で使用できる ・利用料は少し高めでも予約制で一部だけ貸切にできる機能 等	12

施設に関する情報の周知、PR	・習い事や講座等の一般市民へのPR活動 ・どの施設でどんな事が出来るか、行っているかの情報 等	5
子どもの一時的預かりサービス	・一時的預かり保育を作って欲しい ・安心して子供を数時間預けられる 等	5
相談窓口	・法律や税など専門的な知識のある人に無料で相談できる空間 ・何でも気軽に相談出来る窓口 等	4
交通アクセス	・交通アクセスがよい（または駅から〇分など、地図も載せる）等	4
利用しやすい時間帯、日時	・夜の時間帯に利用可能 ・土日に利用できる 等	4
予約手続き	・予約がネットで出来る 等	3
その他	・勉強を教えてくれる先生がいる ・災害時の避難場所及び備蓄に使用可のスペース ・無料の送迎がある ・動物（ペット等や介助犬、盲導犬等）も一緒に利用できる 等	25

※ 1つの回答で複数の内容を含むものは重複してカウントしており、件数の合計が回答数ではない

## 6 その他

**問 25** 南・北公民館、勤労青少年ホームや学校以外で地域の人が集える（コミュニティ活動の拠点となり得る）施設があれば、ご記入ください。

施設名	主な理由	件数
テクスピア大阪	・多くの人が集まれる ・利便性がよい、誰でも知っている ・施設が大きい、設備が整っている、きれい ・警備員がいる ・駐車場がある 等	19
長寿園（老人集会所）	・地域ごとにあり、市民なら誰もが利用出来そう ・無料で利用できる ・植木等もありくつろげる雰囲気がある 等	18
自治会館	・各地にあり、地域密着している ・今までも町内で集まる拠点となっている 等	16
総合体育館	・広く、大人数収容できる ・使いやすく、アクセスがよい 等	8
その他（アルザ泉大津、学校、図書館、あすとホール、福祉会館など）		56

※ 1つの回答で複数の内容を含むものは重複してカウントしており、件数の合計が回答数ではない。

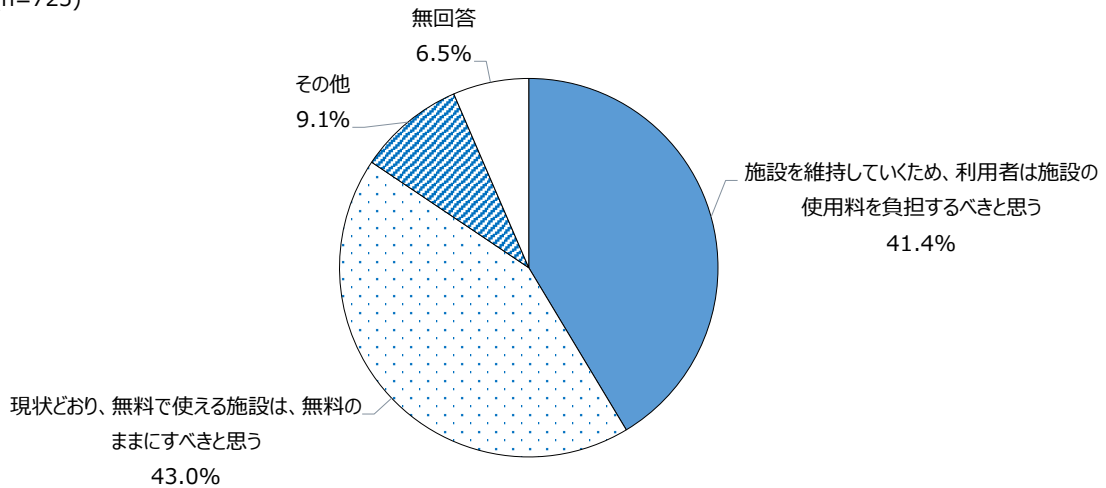
問 26

現在、使用料を無料としている公共施設について、将来にわたり施設を維持していくため、新たに利用者に使用料の負担を求めることについて、どのように思いますか？  
 <1つに〇印>

公共施設の使用料負担については、「現状どおり、無料で使える施設は、無料のままにすべきと思う」が43.0%、「施設を維持していくため、利用者は施設の使用料を負担するべきと思う」が41.4%、となっている。

図表 32 公共施設の使用料負担について

(n=725)



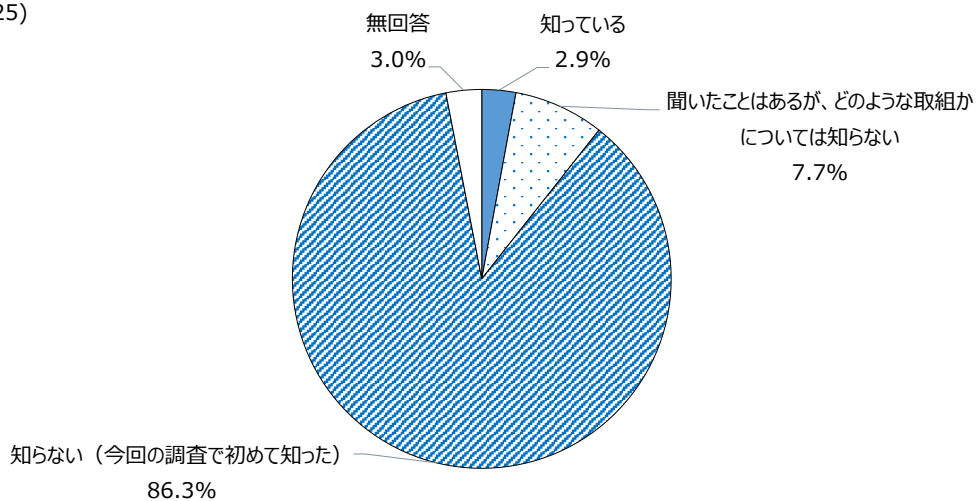
問 27

本市の小津中学校区で令和元年度より開始したコミュニティ・スクールについて、知っていますか？ <1つに〇印>

コミュニティ・スクールの認知度について「知っている」が2.9%、「聞いたことはあるが、どのような取組かについては知らない」が7.7%、「知らない（今回の調査で初めて知った）」が86.3%、となっている。「知らない（今回の調査で初めて知った）」が9割近くを占めている。

図表 33 コミュニティ・スクールの認知度

(n=725)





## 問 28

「未来の学びの場」(学校施設の利活用)について、ご意見がございましたら自由にご記入ください。

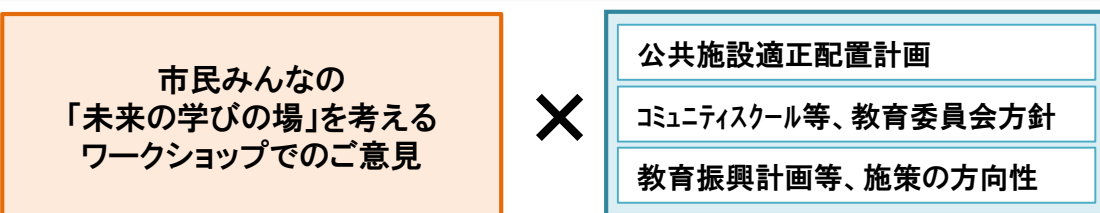
項目	主な理由	件数
学校施設の利活用への意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空教室をどんどん開放して貸し出してほしい。低料金で個人的にでも使えるようにお願いしたい。</li> <li>・学校関係者以外(シニア世代など)でも気軽に利用できる場であってほしい</li> <li>・学校は子供達が学ぶ場であるので、地域住民も一緒になって利用するのは難しい。子どもが色々な事を体験できる様、空きスペースを活用してあげてはどうか。</li> <li>・生涯学習施設より近い学校に学びの場ができるのは楽しみ</li> <li>・土・日・祝日などに利活用できれば良い</li> <li>・学校関係者の負担にならないようにしてほしい 等</li> </ul>	36
市内施設等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の空き教室を活用し、今回対象となっている施設は廃止でよい</li> <li>・学びの場というなら、子供達の自習室の整備をしてほしい。大人は既存施設でのイベントや公園の活用など、今あるものの活用を考えてほしい</li> <li>・子どもが屋根のある涼しい場所で走り回れるような広場があればいい</li> <li>・災害時にも避難、医療等に利用できる</li> <li>・家から近い遠いは関係なく、駐車場の併設も検討してほしい。</li> <li>・民間が入り使用料等が上がったため、あきらめなければならない人も多くなっている。公民館等の生涯学習としての施設は残してほしい</li> <li>・民間企業が入って良くなるのであれば負担額が少しくらい増えたとしても利用してみようと思う 等</li> </ul>	29
防犯・安全面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者や生徒以外の不特定多数の出入りがあると防犯面が不安</li> <li>・学校施設を利用する場合は身元の確認や利用制限を設けて防犯面を強化して欲しい</li> <li>・不審者対策などセキュリティ面が重要。誰でも気軽に入れるのは子供たちの安全が確保されず不安が残る 等</li> </ul>	27
交流・居場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの高齢者のためにも近くで交流できる場があればよい</li> <li>・学校は人々の集まりやすい場所なので、子供達と地域の人達との交流を持てるようイベントや行事を広く募集する</li> <li>・子どもの居場所づくり</li> <li>・両親が遅くまで働いている家庭の子供の居場所、不登校などで勉強の遅れた子供への手助け</li> <li>・介護を一人でされている方、ヤングケアラーの方の相談が受けられるような場所</li> <li>・保育施設と老人福祉施設などを一緒に運用。防災訓練や、学習体験ができ、有事に助け合えるコミュニティ的な広場 等</li> </ul>	21
行政への意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今ある施設を有効利用できるよう、職員でもっと知恵を出してほしい</li> <li>・コミュニティ活動は現在の暮らしに満足してのこと。現実問題、コロナワクチン接種等、まずは行政として対応してもらいたい 等</li> </ul>	14
教室や活動、イベント等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者でも健康のため体力作りに関心があり、頑張る場所があれば参加したい</li> <li>・有料でもいいので様々なイベントや経験ができるものが増えるとよい</li> <li>・プログラミング教室やドローン教室などを開講 等</li> </ul>	11
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの施設でどのような活動をしているのか現状わかりにくいので、広報の仕方を工夫してもらおうと共に、誰もが利用できるようにする</li> <li>・イベント等の周知方法を再考しないと市民に伝わりにくい 等</li> </ul>	8
コミュニティ・スクールへの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールの運営は大変よいこと。子供たちの豊かな成長を支える仕組みとして、本音で協働していくことを期待</li> <li>・小中学校生のいない家ではコミュニティ・スクールも無関係で興味ない人も多いと思う 等</li> </ul>	7
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの目標を取り込んだ野心的なまちづくりをデザインしてほしい</li> <li>・若い世代に住んでもらえるような魅力ある街になるよう頑張してほしい</li> <li>・学びたいと思うが、共働きも多く、時間的余裕がなく、利用に至らないのではないかと。施設が利用されない事情・背景を知ることが大切 等</li> </ul>	25

※ 1つの回答で複数の内容を含むものは重複してカウントしており、件数の合計が回答数ではない。



# 市民みんなの「未来の学びの場」を考えるワークショップとりまとめ

## 1 市民みんなの「未来の学びの場」として思い描く姿



### 【コンセプト】

**泉大津市全域が、学びのキャンパス**  
 ～身近な居場所としての複数の「学び場」と、出会いや発見のある交流拠点としての「学び場」で構成～



**1.1 【地域交流ゾーン】**  
 身近な居場所、顔見知りとの交流の場

**各校区に配置する施設**  
 子どもたちの安全を確保しつつ、普段のクラブ活動などの練習や、ちょっとした活動の場として気軽に使える部屋や、予約しなくても思い思いに過ごすことができる空間などを整備

- 【諸室のイメージ】**（学校にたとえると…）
- “普通教室”のように毎日通える貸しスペースと“図書室”（サロン）
  - “部室”のように利用者でシェアするロッカールームなど
  - 校区ごとに特色を持つ“特別教室”

**1.2 【新しい拠点施設】**  
 出会いや発見がある「学びの場」、新たなチャレンジの応援がある場

**全市の拠点となる施設**  
 特定の活動に必要な設備を備えた部屋や、様々な規模の交流ができる空間などを導入

- 【諸室のイメージ】**（学校にたとえると…）
- 空間と設備が充実した“特別教室”
  - 交流のための、大・中・小など様々な規模の“多目的教室”

**1.3 【その他既存施設】**  
 既存施設のさらなる活用

既に泉大津市内にある既存の学校教育施設、生涯学習施設なども活用

- 学校体育館、シープラ、テクスピア、都市公園、もんとパーク 等

## 2 提供するサービスのあり方 ～新しい拠点施設を中心とした、市民の学びを促進するサービス～

	具体的な取組(案)	取り組むにあたっての課題
2.1 市民が「先生」として活躍できる学びの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 講座を開催したい人が柔軟に施設を利用できる運営ルール等の検討</li> <li>□ リアルと併行してオンラインプログラムを実施（アフターコロナ対応）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「営利目的」となる活動の基準の明確化</li> <li>● スキルのある市民を集めるための魅力的な仕掛けづくり</li> <li>● オンラインプログラムを実施するための環境整備</li> </ul>
2.2 新たなチャレンジを応援するサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 新しく活動を始めたい人が相談できるワンストップ窓口（コンシェルジュ機能）の設置</li> <li>□ 「先生」や運営スタッフになりたい市民を支援する仕組みづくり(研修の実施 等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スタッフや「先生」の一定の水準を確保するため、資格・スキル等の基準の設定</li> </ul>
2.3 施設としての自主企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 市内のクラブ同士で交流するイベントの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● とりまとめや運営を行う中心的組織、人材の確保</li> <li>● 現在利用していない市民の興味を引き、来館を促すための工夫(有名人を呼ぶ、様々な年代の関心に合わせる 等)</li> </ul>

## 3 運営方法のあり方 ～個別の施設を「点」としてではなく、施設全体を「未来の学びの場」＝「面」としてとらえた運営～

3.1 【運営体制】市民参加型の運営体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 幅広い世代や立場の市民等のニーズや意見を、運営に反映させるための仕組みづくり（「(仮称)利用者会議」の定例設置 等）</li> <li>□ 関心のある市民が、施設運営の支援スタッフとして参画することができる枠組みの設定</li> <li>□ 運営組織、支援スタッフの負担を軽減するための設備整備の検討（例：施設管理やセキュリティ対策について、IT技術の活用によって省力化 等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民等のニーズや意見の把握、市民等の支援スタッフの受け入れ等を行い、各施設の管理運営を主体的に行う運営組成の構築又は募集</li> <li>● 支援スタッフとしてのスキルのある市民の参画を促すための募集や情報発信、さらには参画した市民の満足度を向上するための工夫（利用者の感謝を届ける 等）</li> <li>● 支援スタッフの質の確保と、その維持・向上のための人材育成（支援スタッフとして参画を希望する市民に対する講習の実施 等）</li> </ul>
3.2 【利用ルール】時代のニーズに沿ったルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 利用者ニーズにあわないルールの変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用ルールの設定や変更にあたっての他施設との調整、議会議決</li> <li>● ルールを柔軟に変えるつつも、いつ見ても分かりやすくするための工夫（共通のマニュアル、ルールブック作成 等）</li> <li>● 利用目的の枠組みを広げる、手続きを簡素化する等、子供が自由に使いやすいよう配慮したルールづくり</li> </ul>
3.3 【情報発信】面白さとお得感のある情報発信！	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ クラブの取り組み内容の情報発信等を目的としたイベントの開催</li> </ul> <p>⇒将来は、市内全体の公共施設で一体運用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 横断的なイベント運営を担う中心的な組織、あるいは会議体等の検討</li> <li>● 活動団体同士を相互につなぐ等、団体の横の連携を促すためのネットワークの中心となる組織・仕組みの検討</li> <li>● 施設を使いたい人が相談できる窓口の設置(将来的に施設数が増えることも踏まえた)受付対応、問い合わせ対応等の窓口の明確化</li> </ul>
3.4 施設間連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 市民や団体等に各施設を使ってもらい、知ってもらう機会を作る合同イベントの企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全ての施設の利用状況や団体の活動状況の一元的な把握と、集約した情報の発信</li> </ul>

## 4 施設整備のあり方

4.1 地域交流ゾーンの段階的整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適切な立地場所の選定</li> <li>● 公民館等の機能の切れ目がない、整備スケジュールの設定</li> </ul>	4.3 【アクセシビリティ】車で行ける駐車場確保等	● 利用者の交通手段に係る利便性の確保
4.2 新しい拠点施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画・設計にあたっての市民意見の反映</li> <li>● 事業実施のための事業手法の検討</li> </ul>		